

# 2017年度 第1四半期決算

2017年8月3日  
住友商事株式会社

## 将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

# 1. 経営成績

(単位:億円)	2016年度 第1四半期実績 ①	2017年度 第1四半期実績 ②	前年同期比 ②-①	2017年度 通期予想 (2017年5月公表) ③	進捗率 ②/③
<b>当期利益</b>	<b>227</b>	<b>782</b>	<b>+556</b>	<b>2,300</b>	<b>34%</b>
<b>基礎収益<sup>*1</sup></b>	<b>411</b>	<b>774</b>	<b>+363</b>	<b>2,600</b>	<b>30%</b>
うち、資源ビジネス <sup>*2</sup>	△60	136	+196	300	45%
うち、鋼管事業 <sup>*2</sup>	△20	24	+44	0	-
うち、その他非資源	491	615	+124	2,300	27%
一過性損益	約 △140	約 +60	約 +200	約 △200 <sup>*3</sup>	

(参考) 主要指標	2016年度 第1四半期 実績	2017年度		
		第1四半期 実績	通期予想	
為替 (YEN/US\$)	108.16	111.09	110.00	
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.00%	0.03%	0.05%
	LIBOR 6M(US\$)	0.92%	1.40%	1.73%
銅※ (US\$/MT)	4,668	5,834	5,864	
亜鉛 (US\$/MT)	1,915	2,596	2,650	
ニッケル (US\$/lb)	4.00	4.18	4.60	
鉄鉱石※ (US\$/MT)	48	86	70	
原料炭 (US\$/MT)	84	194	150	
原油	Brent※ (US\$/bbl)	34	54	53
	WTI (US\$/bbl)	46	48	52

\* ※印の商品は1-3月(通期予想 1-12月)価格を記載、  
その他の商品は4-6月(通期予想 4-3月)価格を記載  
\* 原料炭…強粘結炭(市場情報に基づく一般的な取引価格)  
\* 為替の影響(通期予想)…1円/US\$の変動で±約10億円

## 〈 2017年度第1四半期実績の概要 〉

- 資源ビジネス : ✓ 資源価格上昇による影響
- 鋼管事業 : ✓ 北米鋼管事業 収益改善
- その他非資源 : ✓ 不動産事業 及び リース事業 堅調  
✓ 大型EPC案件 建設進捗
- 一過性損益 : ✓ (前期) ボリビア銀・亜鉛・鉛事業  
税引当 等 あり

## 〈 2017年度通期予想の進捗状況 〉

- 資源ビジネス : ✓ ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 及び  
豪州石炭事業 堅調
- 鋼管事業 : ✓ リグカウントの緩やかな増加に伴い、収益改善
- その他非資源 : ✓ メディア・生活関連 及び 輸送機・建機の  
コアビジネスが堅調に推移  
✓ 大型EPC案件 建設進捗

\*1 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

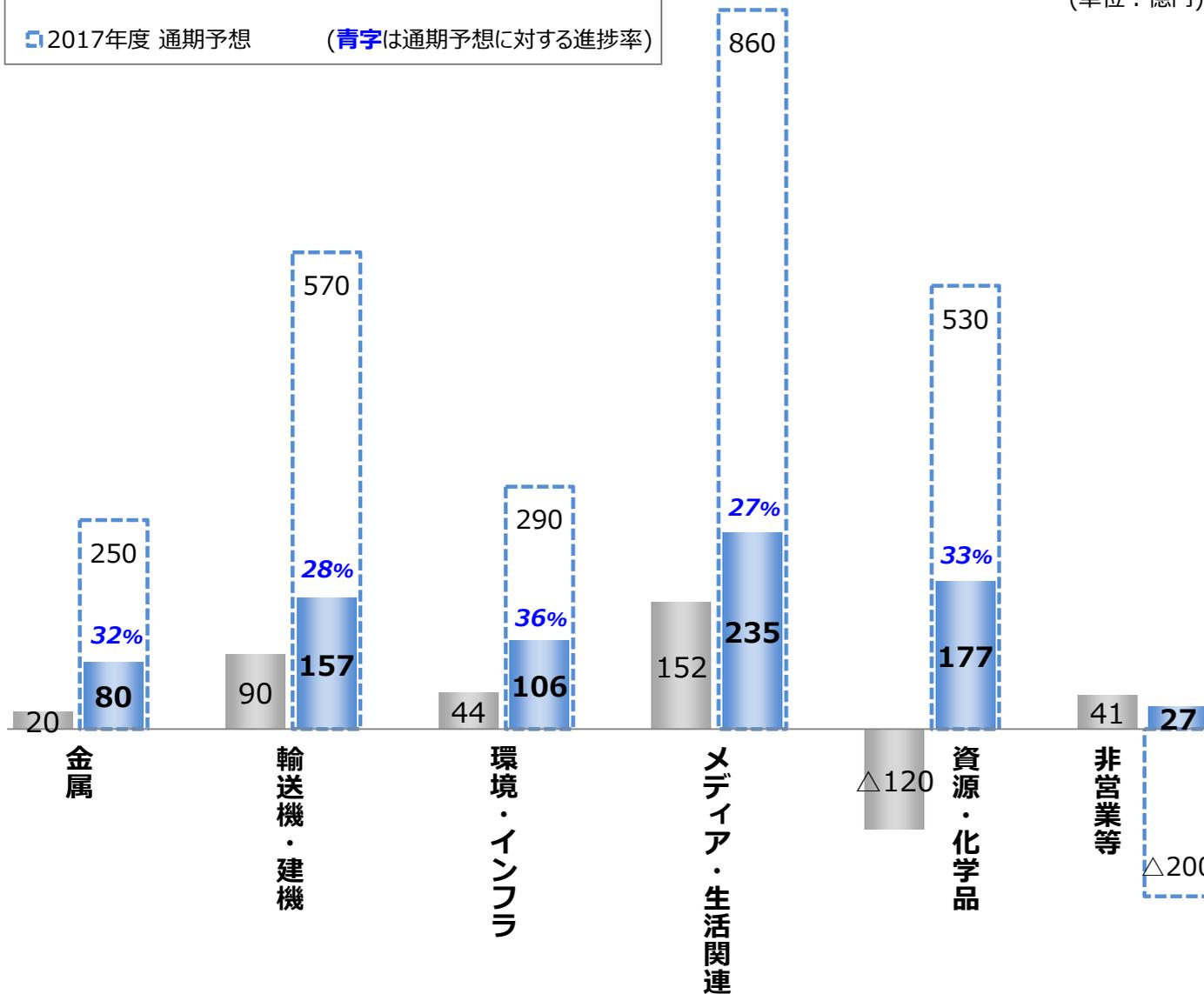
\*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

\*3 2017年度通期予想における一過性損益 約△200億円は、体質改善コスト(戦略的に資産入替を実行する為の費用)を全社で予算化したもの

## 2. セグメント別 当期利益 (グローバルベース\*)

■ 2016年度 第1四半期実績 ■ 2017年度 第1四半期実績  
 □ 2017年度 通期予想 (青字は通期予想に対する進捗率)

(単位：億円)



### 〈セグメント別業績概要〉

【2017年度 第1四半期実績の概要】

- **金属**
  - ✓ 北米鋼管事業 収益改善
  - ✓ 海外スチールサービスセンター事業 堅調
- **輸送機・建機**
  - ✓ リース事業 及び  
建機レンタル事業 堅調
- **環境・インフラ**
  - ✓ 海外発電事業 堅調
  - ✓ 大型EPC案件 建設進捗
  - ✓ 再生可能エネルギー分野における  
一過性利益あり
- **メディア・生活関連**
  - ✓ 国内主要事業会社 及び  
不動産事業 堅調
- **資源・化学品**
  - ✓ ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 及び  
豪州石炭事業 堅調
  - ✓ 前年同期 ボリビア銀・亜鉛・鉛事業  
源泉税に係る税引当あり

\* 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値

### 3. キャッシュ・フロー／財政状態

#### ● キャッシュ・フロー実績

(単位：億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期
営業活動	+1,196	△79
投資活動	△490	△379
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>+707</b>	<b>△458</b>

<キャッシュ・イン>

基礎収益キャッシュ・フロー*	+717	+1,059
減価償却費	+285	+290
資産入替による回収	約 +100	約 +500
その他の資金移動	約 +200	約 △1,600

<キャッシュ・アウト>

投融資実行	約 △600	約 △700
-------	--------	--------

\* 基礎収益キャッシュ・フロー = 基礎収益 - 持分法による投資損益 + 持分法投資先からの配当

< 2017年度第1四半期実績の概要 >

- **基礎収益キャッシュ・フロー**  
 ✓コパジックが着実にキャッシュを創出  
 ✓持分法投資先からの配当 (647億円)
- **資産入替による回収**  
 ✓米国ワイズビル 一部売却 等
- **その他の資金移動**  
 ✓運転資金の増加 等
- **投融資実行**  
 ✓グローバル 水事業/住友精密工業 等

#### ● 財政状態

2016年度末

総資産 7.8兆円

流動資産 3.3兆円	その他の負債 2.0兆円
	有利子負債 3.4兆円
	(現預金Net後) 2.6兆円
非流動資産 4.4兆円	株主資本* 2.4兆円

D/E Ratio(Net) : 1.1

2017年度第1四半期末

総資産 7.7兆円

流動資産 3.3兆円	その他の負債 1.9兆円
	有利子負債 3.4兆円
	(現預金Net後) 2.7兆円
非流動資産 4.4兆円	株主資本* 2.4兆円

D/E Ratio(Net) : 1.1

< 2017年度第1四半期実績の概要 >

- **総資産 △749億円**  
 (77,618億円→76,868億円)  
 ✓資産入替による減少  
 ✓新規投融資による増加 等
- **株主資本 +524億円**  
 (23,665億円→24,189億円)  
 ✓当期利益の積み上げ  
 ✓配当金の支払い

	2016年度末	2017年度 第1四半期末
為替 (YEN/US\$)	112.19	112.00

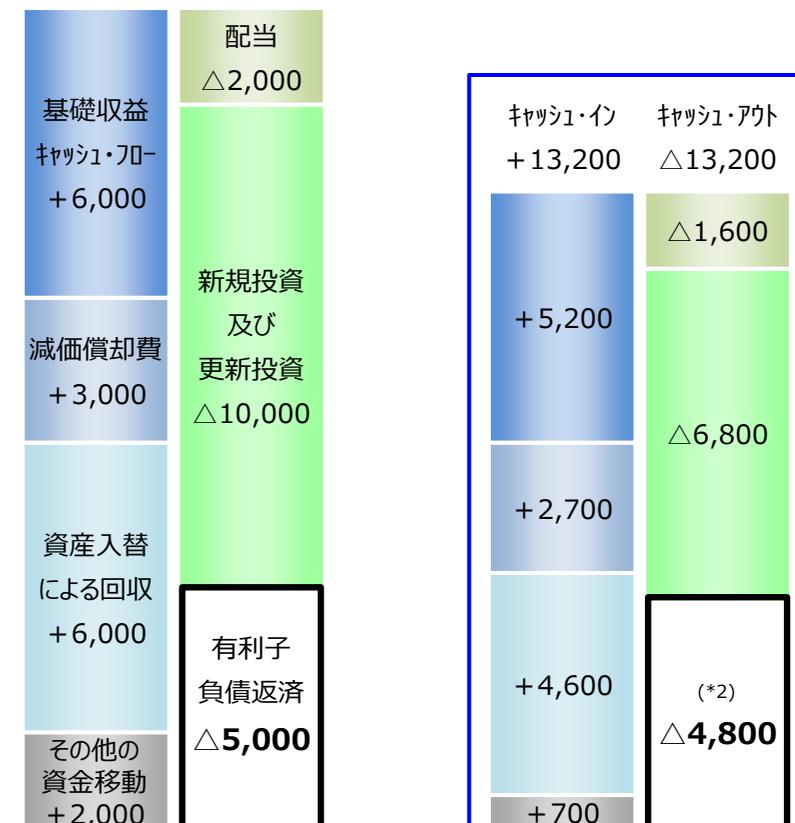
\* 株主資本…資本の内、「親会社の所有者に帰属する持分合計」

内、「在外営業活動体の換算差額」：1,576億円→1,562億円、「FVTOCIの金融資産」：1,730億円→1,796億円

#### (参考) BBBO2017<sup>(\*1)</sup>キャッシュ・フロー計画進捗

キャッシュ・イン    キャッシュ・アウト  
+17,000    △17,000

(単位：億円)



#### 3年合計計画

(2015年4月～2018年3月)

(\*1) 当社は、2015年4月～2018年3月の3か年を対象とする現行の中期経営計画「Be the Best, Be the One 2017(BBBO2017)」において、3年合計で配当後フリーキャッシュ・フローを5,000億円確保し、回収した資金で有利子負債を返済する計画としております。

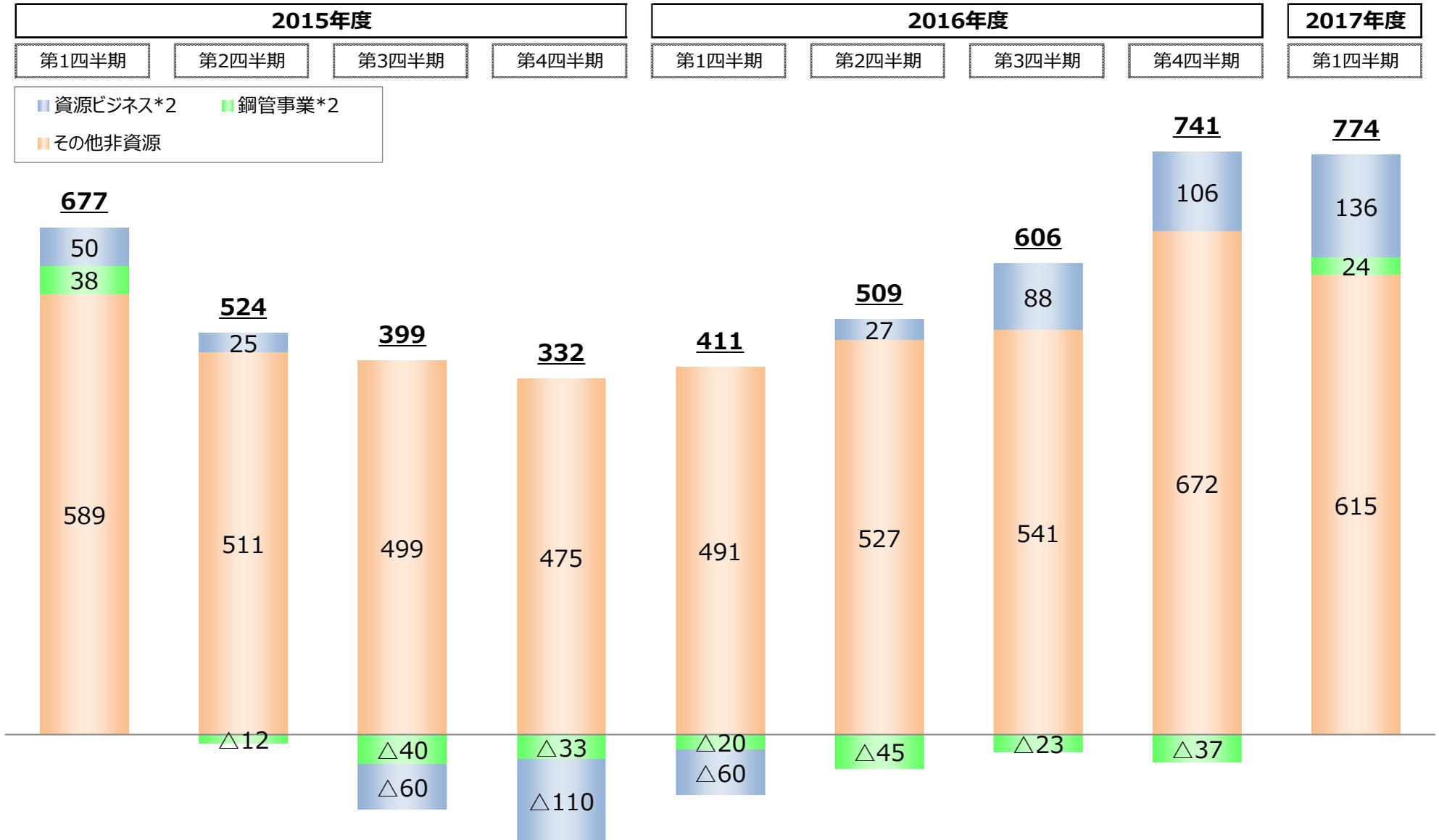
(\*2) 配当後フリーキャッシュ・フロー累計実績のマイナス値を記載しております。

# Appendix

## 4. 基礎収益\*1 四半期推移

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位：億円)



\*1 減損損失の影響を除いた基礎収益を記載

\*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

## 5. 要約連結包括利益計算書

(単位：億円)	2016年度 第1四半期実績 (2016/4-6)	2017年度 第1四半期実績 (2017/4-6)	前年同期比		2017年度第1四半期実績の概要
			金額	増減率	
収益	9,210	<b>11,242</b>	2,031	22%	«売上総利益» ・資源価格上昇の影響 (ボリビア銀・亜鉛・鉛事業、豪州石炭事業等) ・不動産事業 堅調 ・北米鋼管事業 収益改善 ・大型EPC案件 建設進捗  «持分法による投資損益» ・資源価格上昇の影響 ・リース事業 堅調 ・マレーシアアルミニウム製錬事業 堅調  «有価証券損益/固定資産損益/その他の損益» ・前年同期 ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当あり
売上総利益	1,973	<b>2,318</b>	345	17%	
販売費及び一般管理費 (内、貸倒引当金繰入額)	△1,709 (△0)	△ <b>1,757</b> (△4)	△48 (△3)	△3% (△658%)	
利息収支	△10	△ <b>15</b>	△5	△46%	
受取配当金	36	<b>47</b>	11	32%	
持分法による投資損益	210	<b>362</b>	152	72%	
有価証券損益	△16	<b>16</b>	33	-	
固定資産損益	2	<b>27</b>	24	982%	
その他の損益	△111	<b>36</b>	147	-	
税引前利益	376	<b>1,035</b>	659	175%	
法人所得税費用	△117	△ <b>231</b>	△113	△96%	
当期利益	258	<b>804</b>	546	211%	
当期利益の帰属：					
親会社の所有者	<b>227</b>	<b>782</b>	<b>556</b>	<b>245%</b>	
非支配持分	32	<b>22</b>	△10	△31%	
基礎収益*	411	<b>774</b>	363	88%	
包括利益(親会社の所有者に帰属)	△1,562	<b>833</b>	2,395	-	

\* 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益